

令和3年度 秋葉区組織目標

組織名	秋葉区	部長	秋葉区長 夏目 久義
組織の目的・方向性	秋葉区では、区ビジョンまちづくり計画や地域福祉推進計画に基づいて、時代の潮流を踏まえつつ、区の将来像である「花と緑に囲まれた、笑顔咲きそろう、にぎわいのあるまち」を実現するため、秋葉区の特性を生かしたまちづくりを推進します。		

秋葉区組織目標

秋葉区では、産学官・地域等と連携してまちの活性化と人材(人財)育成を進めるとともに、区民の地域への愛着や誇りを育み、地域資源を生かして交流人口や定住人口の拡大を図ります。

この方針のもと、今年度は次の4つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 産学官及び地域等と連携し、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材(人財)育成等に向けた主体的な取り組みを進めるとともに、アキハスムプロジェクトの理念に基づき、秋葉区の特性或魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進の支援や、市民活動に取り組む新たな人材(人財)を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。
- 2 住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。安心安全なまちづくりのため、区民と協働して防犯対策に取り組めます。
- 3 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及し、地域住民や関係機関と連携・協力することで、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みの支援と活動を推進します。地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。
- 4 里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。また鉄道、花と緑、史跡など恵まれた地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	3
	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる移住相談会の開催や特設ホームページ・SNSを通して、区のイメージや情報を総合的に発信するとともに、地域が主体となった取組みを支援するなど地域活動への支援を行いました。 ・女子の視点からまちづくりを考えるプロジェクトについて、新たな活動として秋葉区のPR動画の作成を行いました。 <p>【重点目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区懇談会の開催により各地域の課題解決に向けた具体的な検討や対応を行うとともに、日常的な地域づくりにおける各種相談等の支援を行うことで住民主体の地域づくりを支援しました。 ・安心安全なまちづくりのため、児童の登下校時の見守り活動や青色防犯パトロールの実施など、区民と協働して防犯対策に取り組みました。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちを目指し、認知症への理解を深めるため、区だより、FMにいつ、ポスター等掲示による啓発活動を行いました。 ・つながる支援ファイルについては、支援を必要とする方やその家族を対象に新規サービス利用の相談時に配付した結果、目標を上回る利用がありました。 ・子育て講座、フレイル予防事業については、新型コロナウイルスの影響により一部実施を制限せざるを得ない状況もありましたが、その中において産前産後のリフレッシュ事業などは好評でした。 <p>【重点目標 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山魅力発信については Akiha マウンテンプレーパークをコロナ禍にあっても予定通り実施することができました。感染症予防対策の取り組みや屋外事業であることへの安心感もあり、参加者数が昨年度より増加しました。 ・新津丘陵に点在する里山ビジターセンター、石油の世界館、花の湯館による事業連携を行いました。里山に親しみ、自然散策をする市民に対して施設への誘客を図っています。 ・鉄道物語事業では新津駅東口「あ！キハ」観光案内所を開設し、JR新潟支社、新津商店街、新津観光協会と「鉄ぶら」事業実施を支援したことで一定程度の集客効果がありました。また、磐越西線定期運行推進協議会ではばんえつ物語号のPR動画の制作を行いました。今後のPRに活かしていきます。 ・アキハ花一番PR事業は、市産の花き鉢花の展示を各区役所など公共施設に展示しました。また、日本海フェリー内に区産のアザレアを展示し、PRに努めました。 				

【重点目標 1】

- ・産学官の連携を深めるとともに大学、学生と各種団体との柔軟な協働によるまちなか活性化に向けた取り組みを推進します。
- ・アキハスムプロジェクトを継続し、「住んでよかった・住んでよかったと思えるまちづくり」を目指し、秋葉区のブランド化や地域アイデンティティの醸成を図ることで、さらなる人財の発掘・育成や地域主体の移住・定住の促進など地域・住民主体のまちづくりを推進します。

【重点目標 2】

- ・安心安全なまちづくりのため、引き続き児童の登下校時の見守り活動や青色防犯パトロールの実施など、区民と協働した防犯対策を推進していきます。

【重点目標 3】

- ・「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指し、地域住民や関係機関と連携・協力し、秋葉区の特徴を活かした、高齢者・障がい者・子育て・健康づくりなどの各支援施策・事業に取り組みます。
- ・地域包括ケアシステムによる生活支援として、引き続き、認知症高齢者等にやさしい継続的な支援と仕組みづくりに取り組みます。
- ・つながる支援ファイルについては、今後も医療・保健・福祉・教育・労働など各機関のつながった支援が行えるよう、引き続き配付を継続するとともに活用方法等の周知に努めます。
- ・妊娠期からの母子を支援する体制づくり、各種子育て支援事業を進めることにより地域で安心して子育てできるようサポートします。
- ・高齢者のフレイルだけでなく、子どものロコモ予防や生活習慣の見直しにつながるよう地域全体の健康増進の取り組みを進めます。

【重点目標 4】

- ・今後も里山の魅力発信のために里山に点在する施設と連携し、各種事業に取り組んでいきます。特にコロナ禍で屋外事業への安心感を考慮し、里山の魅力を一層PRしていきます。
- ・アフターコロナを見据えて、地域資源である「里山」「鉄道」「花」「史跡」を活かした代替事業を含めて各種事業に取り組んでいきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5451
------------	--------------

年度	令和3年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域総務課
組織の目的	安全な秋葉区、地域アイデンティティあふれる秋葉区、“持続可能なまち”秋葉区を目指して、所掌事務を発展・展開し、取り組んでいきます。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標							目標達成状況	評価
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3実績	補足・参考指標		
1		産学官及び地域等と連携し、新潟県立大学が持つ知的資産と学生の感性やパワーを積極的に活かし、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成等に向けた主体的な取り組みを進めます。	・まちなか活性化実行委員会の開催 ・産学官連携による人材(学生)育成	新規事業及び事業改善数	-	-	-	1	1	・関係機関等との調整、事業の進行管理	・これまで健康部単独で実施してきた「健康フォーラム」について拡大事務局会議において他の部会との連携開催することを決定し、実施した。 ・コミュニティフィールドワークを開催した。	達成
			学生の地域づくり体験活動実施回数(回)	1	1	0	1	1	・H29-31学生コミュニティフィールドワーク			
2		「アキハスプロジェクト」の理念のもと、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人材を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。	・秋葉区ブランドや魅力の発信 ・秋葉区移住体験ツアー ・移住モデル地区等への支援	県外からの移住世帯数	-	-	0	1	0	・地域主体による魅力発信や移住者受入体制整備を支援 ・HAPPYターンモデル指定 小須戸地区(H29年11月) 金津里山地区(R1年11月)	・コロナ禍により県外からの移住の動きが停滞しており、移住体験ツアーの開催は難しいため、WEBによる相談会を実施したが、モデル地区に適用される補助金を活用した移住者はゼロとなった。引き続き、特設WEBサイトやSNSにて秋葉区の魅力や情報を発信していく。 ・コロナ禍により教育懇談会は中止になったが、Akibaきらきらプロジェクトでは、カフェミーティングや、女性の目線により秋葉区の魅力を発信する動画を作成した。	一部未達成
			・新たな人材の発掘育成 ・教育懇談会の開催	取組み実施の件数	5	5	5	5	4	・まちづくりに係る企画への支援等		
3		住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。	・地域課題の解決策や区政の取り組みをテーマに、区長との意見交換を中心とした地区懇談会の開催	地区懇談会開催回数(回)	11	11	11	11	11	・地域からの課題をもとに意見交換	・コロナ禍の状況ではあったが、時短及び参加人数の調整を行うことで、区内全11コミ協において地区懇談会を実施し、課題解決へ向けて地域と連携し、具体的な検討・対応を行いました。	達成
4		安心安全なまちづくりを推進するため、区民との協働により、防犯対策に取り組めます。	・青色回転灯を装着した自動車「青バト」による定期的な防犯パトロールを行います。併せて、青バトを行いながら、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための啓発」や、「交通安全の啓発」も行います。 ・区民と協働し、安心安全なまちづくりを推進するため、防犯パトロール実施団体の募集を定期的に行います。	「青バト」による防犯パトロールの実施回数、防犯パトロール実施団体の募集	-	-	・青バトを計74回実施 ・区だよりによる実施団体の募集2回(7/19号、1/17号)	・青バトの実施月4回以上 ・区だよりによる実施団体の募集2回以上	・青バトを年度末までに計65回実施。 ・区だよりによる実施団体の募集を2回実施(7/18号、2/6号)	R2年中区内の刑法犯総数244件 “ 犯罪率3.2件(8区内で低いほうから2番目)	・「青バト」による防犯パトロールについて、年度末までに計65回実施し、目標を達成しました。 ・防犯パトロール実施団体の募集について、前期・後期ともに区だよりによる実施団体の募集(各1回)を行い、目標を達成しました。また、コミュニティ連合会の会議(1/13開催)の際に、青バト実施団体の募集について啓発しました。	達成
			再生可能エネルギー活用によるまちづくり協議会会議の参加回数	-	-	-	3	4	令和2年2月28日、新津商工会議所・越後天然ガス運名による「(仮称)再生可能エネルギー活用による秋葉区周辺エリアの未来ビジョン検討会議」への参加依頼あり。持続可能な低炭素まちづくりに関する連携協定(2022年3月31まで)			
5		エネルギーの効率的な利用の推進による安心・安全なまちづくりを進めるため、地域特性を生かした再生可能エネルギーの利用を促進し、低炭素社会の実現と効率的なエネルギー利用を推進します。	官民協働による再生可能エネルギーの利用の促進と地域単位で自家発電や蓄電を含む効率的なエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築について検討します。	再生可能エネルギー活用によるまちづくり協議会会議の参加回数	-	-	-	3	4	脱炭素社会に向けて、地域活性化と結びつけた脱炭素の取り組みの内容を提言書にまとめることを目的に「秋葉区みらい会議」が設立された。R3年度は4回の会議が開催され、市・区からはオブザーバーとして参加、自立分散型エネルギーシステムの構築やエネルギーの地産地消などの検討を行い、次期区ビジョンまちづくり計画へ向けた提言書としてまとめられた。	達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>産学官及び地域等との連携を深めながら、まちなかの活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成等をより主体的に行います。「アキハスプロジェクト」の理念のもと、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人材を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。</p> <p>地域コミュニティ協議会と連携・協力し、区や地域の課題等について意見交換し、具体的方策・対応を共有・検討します。子どもたちを健やかに育てるための環境づくりを話し合う教育懇談会を開催します。</p> <p>安心安全なまちづくりを推進するため、区民との協働により、青色回転灯を装着した自動車「青バト」による定期的な防犯パトロールを行い、地域の犯罪の未然防止に努めます。</p> <p>官民協働による再生可能エネルギーの導入と効率的な利用について、民間主導によるまちづくり協議会へ参画し検討します。</p>	<p>アキハスプロジェクトの取り組みとして、SNSやホームページを活用した区の情報や動画の配信により地域の魅力を積極的に発信しました。今後更に市民主導による地域活動に取り組む人材の発掘と地域アイデンティティの醸成を図ります。</p> <p>区民の声を区政に生かすため、区内11のコミュニティ協議会と地区懇談会を開催し、地域課題の解決に向けて意見交換を行い、具体的な対応を検討しました。今後も地域や団体と連携し住民主体の取り組みにより、区の魅力を高め、地域に愛着や誇りを持ち、誰もが自分らしくいきいきと暮らし、「住んでよかったと思えるまちづくり」を進めていきます。</p> <p>青色回転灯を装着した自動車「青バト」による定期的な防犯パトロールを行い、地域の犯罪の未然防止に努めました。また、区民との協働による安心安全なまちづくりを推進するため、区だより等で防犯パトロール実施団体の募集を積極的に行いました。</p> <p>令和3年に設立された「秋葉区みらい会議」へオブザーバーとして参加し、自立分散型エネルギーシステムの構築やエネルギーの地産地消、再生可能エネルギー導入などの検討を行いました。検討内容は次期区ビジョンのまちづくり計画へ向けた提言書としてまとめられました。次年度以降も引き続き「秋葉区みらい会議」で検討を続けます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5751
------------	--------------

年度	令和3年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	区民生活課
組織の目的	区役所で最も多くの市民が利用する窓口として、複雑多様化する市民ニーズに応え市民満足度の向上を図るため、職員一人ひとりの資質を高めることにより親切丁寧な窓口サービスを実現します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標
1		区役所の窓口サービスにおける市民満足度の一層の向上を図ります。	・窓口アンケートの実施 ・職場内研修の実施	窓口アンケートの平均点(点)	4.55	4.53	4.58	4.50	4.58	・窓口アンケートの平均点(5点満点)	窓口アンケートの平均点は4.58点となり、目標は達成した。 設問の内、職員の接客態度については4.72点となり、7つの設問の中で最も高い点数となりました。	達成
2		親切丁寧で分かりやすい窓口対応、総合的な案内を実践するため、職員のスキルアップを目指します。	・各係の業務についての課内研修の実施(前・後期各3テーマ) ・事前テスト・確認テストの実施	研修後の確認テストの平均点(点)	(9.5)	9.5	9.45	8.5	8.9	・令和元年度から研修内容を変更して実施 ・H28～30はロールプレイングによる職場研修を実施	課内研修には延べ295人(前期150人、後期145人)が参加し、職員の力量向上を図りました。 研修後の確認テストの平均点は8.9点となり、目標は達成しました。	達成
3		日常業務の改善を進めるとともに、効率的な業務を行うため、職員提案を促し改善を実施します。	・改善項目の抽出 ・改善の実施	改善件数(件)	14	24	24	16	37	・各係4件以上の改善	各係4件以上、計37件の改善を行い、業務の効率化や市民サービスの向上につなげました。	達成
4		ゴミの無ききれいな生活環境の保持に努めます。	・ゴミの不法投棄防止に向け、定期的なパトロールの実施 ・不法投棄ゴミの回収 ・不法投棄防止看板の設置	パトロールの回数(回)	—	—	—	12	12	・不法投棄重点監視地区について、月1回のパトロールを実施	月1回、計12回のパトロールを実施しました。その内4回で計6個の粗大ゴミを回収しました。 パトロールの実績については、記録表を作成し、今後の業務に活用できるようにしました。	達成
5												

取組みについて(今年度重点的に取組み内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>区民生活課は区役所の中で最も多くの市民が利用する窓口であり、その窓口での対応が区役所・市役所の印象となります。そのため、研修への積極的な取組みを継続して行い、職員一人ひとりの資質の向上を図ることで、親切丁寧、迅速かつ的確な対応を実践し、市民満足度の一層の向上を目指します。</p> <p>職員から改善提案を募集し、可能な提案はすみやかに実施することで業務の効率化を図り、日常業務をさまざまな角度から見直し、改善することができる職員を育成します。</p> <p>ゴミの不法投棄防止に向け、重点監視地区のパトロールを定期的に実施し、ごみの無ききれいな生活環境の保持に努めます。</p>	<p>窓口での市民満足度を高めることを組織の目標とし、達成の指標である窓口アンケートの平均は4.58点となり目標を上回りました。今後も窓口アンケートを活用し窓口における市民満足度の向上に取り組んでいきます。</p> <p>課内研修は係員が講師となり、前期・後期それぞれ3テーマについて研修を実施し、延べ295人の職員が参加しました。研修後の確認テストの平均点は88.9点となり目標を上回りました。今後も職員一人ひとりの力量をアップさせるための取組みを継続していきます。</p> <p>改善提案は各係4件以上、計37件の改善を実施しました。小さな改善提案の積み重ねが市民サービスの向上に繋がるとの認識の下に、継続して改善活動に取り組んでいきます。</p> <p>今年度からゴミの不法投棄防止に向け、月1回、重点監視地区のパトロールを実施しました。パトロールの実績については記録表を作成・活用し、ごみの無ききれいな生活環境の保持につなげていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5711
------------	--------------

年度	令和3年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	区民一人ひとりが、健康で安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、地域包括ケアシステムの構築や秋葉区の特性を活かした福祉や健康づくりなどの各支援施策、事業に取り組み、「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本方針である「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標
1		地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。	・認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進 ・認知症に関する知識の普及・啓発	認知症に関する普及・啓発活動実施回数(回)	—	—	—	8	8		・前期は、区だより掲載1回、FMIについて1回、ポスター等の掲示1回を実施 ・後期は、区だより掲載3回、ポスター等の掲示1回実施のほか、昨年度同様、ネット配信による講演会を1回開催	達成
2	3	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力しながら、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。	・障がい者への理解を広げ(つながる)、仲間づくり(つなげる)の推進(つながる支援ファイルの作成・配付、保護者支援の講座の開催)	つながる支援ファイル利用者数(人)	—	87	141	160	193	・つながる支援ファイルとは、医療・保健・福祉・教育・労働など各機関の支援を1冊のファイルに記録し、経年的に管理し、保護者が所持するもの	・新規サービス利用の相談時等に配付し、目標を上回る193人が利用した。 ・今後も配付を継続するとともに、関係機関等に活用方法を周知し利用を促す。	達成
			・身近な子育て支援の充実(子育てサロン・パパママプチ講座・BP2・パパママ銭湯・デイケアルームなどの開催)	子育て講座等の開催回数(回)	—	122	126	130	130	・目標の回数は、子育て支援センター「新津育ちの森」や新津健康センター等で実施する子育て講座	・各種講座を予定どおり開催しており、目標の達成した。 ・今後も新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながら進める。	達成
			・フレイル予防事業(予防教室・講座、各地域での予防普及啓発・支援など)	フレイル予防事業の参加延人数(人)	—	1,660	801	850	820	・目標数は、フレイル予防教室・講座、地域イベントでのフレイル啓発事業への参加延人数	・地域で活動するPPKサポーター等住民サポーターのフォロー研修を実施したほか、FMラジオ等も活用し予防の啓発を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域での活動自粛や一部中止もあったが、住民が集まる様々な機会に啓発を行いながら事業を進めた。	達成
3		窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指します。	・各係の業務からテーマを設けて課内研修会を実施	研修会実施回数(回)	7	7	8	7	7	・各係(担当)1回以上の実施	・各係が1回以上の課内研修会を企画、実施し、目標を達成した。今後も、職員のスキルアップと窓口サービスの向上に向け取り組み、市民の満足度アップを図った。	達成
4		継続的に業務改善を実施し、効果的な市民サービスを行います。	・各係で業務や窓口等における継続的な業務改善を実施	改善実践報告の件数(件)	21	21	21	21	21	・各係(担当)3件以上の取組	・業務の効率化と市民目線での利便性の向上等、市民の満足度アップのため、業務改善に取り組んだ。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容や評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進します。認知症に関する知識の普及啓発を図り、区民や地域の団体等とのネットワークづくりから区民協働による「認知症高齢者と支える家族にやさしい秋葉区」を目指します。</p> <p>「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指し、地域住民や関係機関と連携・協力し、秋葉区の特性を活かした、高齢者・障がい者・子育て・健康づくりなどの各支援施策、事業に取り組みます。</p> <p>子育て支援では、新たに、産後のリフレッシュ事業として、パパママ銭湯やデイケアルームを実施するほか、子育てサポーターによる訪問事業を開始し、妊娠からの母子を支援します。また、子育て支援センター「新津育ちの森」は、新津健康センターへの移転に合わせて事業内容などの検討を行い充実を図ります。</p> <p>窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指し、職員のスキルアップを目指す研修会や継続的な業務改善を実施し、効果的な市民サービスを行います。</p>	<p>地域包括ケアシステムによる生活支援の取り組みとして、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを進めるため、区だより、FMIについて、ポスター等で認知症に関する普及・啓発活動を行いました。また、昨年度同様、ネット配信による認知症講演会を開催し、認知症の予防や発症後の地域での暮らし方、周囲の関わり方等について一般市民が正しく学び、住み慣れた地域で生き生きと暮らし、イメージをもっていたいただきました。</p> <p>今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育てや健康づくりの各種事業、講座等に影響が出たものもありましたが、感染予防対策を講じながら目標を達成することができました。</p> <p>特に子育て事業では、産前産後のリフレッシュ事業や子育てサポーター訪問事業に取り組んだ結果、妊娠前から母子を支援する体制づくりが進みました。また、来年度から「新津育ちの森」が新津健康センターへ移転するため、効果的な事業展開を図ります。</p> <p>今年度新たに、秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画の第3期計画がスタートしましたが、その基本理念である「人がつながり、ともに支え合う、やさしいまち」の実現に向け、来年度は区づくり事業のリニューアルや拡充を図りながら、高齢者、障がい者をはじめ、区民が健康で安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や関係機関と連携・協力しながら取り組みを前進させます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5331
------------	--------------

年度	令和3年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	産業振興課
組織の目的	区の特徴である「鉄道・花・里山・石油」のキーワードに関連する施設を活用し、交流人口の拡大を図ります。また、関係団体と連携して地域経済の活性化と賑わいのあるまちづくりを進めるとともに、地域の特性を踏まえた農業政策を推進することで、地域農業の持続的な発展を目指します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			
1	4	里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。	・里山未来創造事業	Akihaマウンテンプレーパークの参加者数(子供参加数)	1,802	1,907	プレーパークの実施	1,500	1,717	令和2年度実績 26回1,098人 令和3年度は32回実施 ※コロナ中止2回 悪天候中止1回	・32回開催1,717人(@53人)が利用 参考:令和2年度 26回 1,098人@42人	達成
		地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。	・里山3施設管理運営 花の湯館 石油の世界館 里山VC	里山3施設による連携事業数	—	—	—	2	4	R3年度より3施設の指定管理者が同一事業所に統一されたことを受け各種事業を実施する	・里山スタンプラリー(花の湯館割引チケット配布) ・さつきちゃん、ゆうたくんをさがせ(シール) ・コスフォートin石油の開催(参加者へ花の湯館割引チケット配布) ・スタンプラリー(施設巡りでの種プレゼント)	達成
			・秋葉「鉄道物語」 ・磐越西線SL定期運行推進協議会 ・阿賀野川ライン観光協会 ・アキハ花一番PR事業 ・園芸推進費(既存事業)	磐越西線・阿賀野川沿線自治体及びJRとの連携事業数	—	4	2 (代替事業を実施)	代替2事業	3	令和元年度事業の代替事業を実施する	・ばんえつ物語号PR動画制作 ・阿賀野川ライン協会PR動画制作 ・阿賀野川ライン協会パンフレット刷新	達成
			秋葉区内花き関連団体連携事業数(新潟県花弁出荷組合・新潟県花木振興協議会・新潟県立植物園・花夢里・新潟FL・うららこすど)	—	—	—	5	5	現在、各団体と連携して行っている花卉・花木振興事業を新しい生活様式に合わせて展示PRを中心に実施する	・新潟駅東口広場のプランター植栽・展示事業 ・公共施設の市施設(区役所等)産鉢花のPR事業 ・日本海フェリー内でのアザレア展示 ・遠方市場に向けて輸送費支援の社会実験事業を実施 ・越の花飾り(燕喜館での展示)	達成	
2		小学生向けのプログラミングによる養成講座開設を通じて秋葉区の将来を担う社会起業家を育てます。	・社会起業家発掘・養成事業	社会起業家発掘・養成事業入門編参加者数	—	—	—	15	15	地元企業や大学生のかかりを通して社会起業家発掘・養成事業を小学生を対象にして実施する	・8月21日予定がコロナ禍で中止 ・12月19日15名参加 ・2月27日予定がコロナ禍で中止	達成
3		「もち麦」を核に、農業・福祉・健康づくりの各分野で様々な取組を展開します。	・Akihaもち麦推進事業	もち麦販売促進事業数	—	—	5	5	11		・いいね! 秋葉区展示 ・矢代田小学校もち麦総合学習 ・フードメッセにいがた出展 ・学校給食統一メニュー ・ほんポートPR展示	達成
				区内産もち麦の取り扱い店舗数	8	18	26	26	28		・新規 4店舗(中新田郵便局、totoカフェ、にいつ駄菓子屋の駅、まくあげびー) ・取りやめ 2店舗(花の湯館、里山VC)	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>Akihaマウンテンプレーパークは新型コロナウイルス感染症対策を行う中で実施し、1回あたりの参加者数(子供参加数)が昨年度を上回るなど、屋外での活動に一定の需要がありました。コロナ禍にあってもアウトドア活動への需要を喚起できたと考えます。</p> <p>里山3施設による連携事業は、今年度より指定管理者が同一事業所になったことを受け、施設の管理運営での連携事業に取り組むものです。特に、石油の世界館への誘客、里山の情報発信、ボランティアガイドとの事業連携に努めました。</p> <p>磐越西線沿線自治体及びJRとの連携事業は鉄道まつり等の代替事業で「ばんえつ物語号」のPR動画の制作を行いました。さらに、阿賀野川ライン観光協会に働きかけ阿賀野川のPR動画とパンフレットの制作を行いました。また、新潟駅前観光案内所を活用し、SLばんえつ物語号や四季島などの誘客列車を通じ、JR新潟支社、商店街との連携を行いました。</p> <p>秋葉区内花き関連団体と進めてきた花き・花木振興事業を地場産業の育成の観点から各種事業を実施しています。特に、遠方市場への輸送費助成や地元生産の花き・花木による各種園芸事業への参画は組織と連携し積極的に行いました。</p> <p>社会起業家発掘・養成事業(入門編)は未来の起業家を育成する観点から、地域の企業や大学と絡ませ、今年度より小学生を対象としたプログラミングを中心とした内容にしています。</p> <p>Akihaもち麦推進事業は引き続き実施し、事業の充実を目指しました。</p>	<p>Akihaマウンテンプレーパークは4月から新型コロナウイルス感染症対策を十分行いながらコロナでの休止等があったものの、ほぼ予定通り開催しました。</p> <p>コロナ禍にあってもアウトドア事業に対する安心感と開放感もあって参加者数は1,717人(1回あたり昨年比126%)でした。今後も安全を最優先に実施していきます。</p> <p>里山3施設による連携事業は、今年度より指定管理者が同一事業所になったことによりスタンプラリーや温泉割引など、施設の利用促進事業などを取り組みました。特に後期は石油の世界館への誘客事業を指定管理者とともに取り組み、施設めぐりで花の種プレゼントを行いました。</p> <p>磐越西線沿線自治体及びJRと連携し、ばんえつ物語号PR動画を制作しました。また、買い物促進事業「鉄ぶら」を参加店舗増加(62店舗→92店舗)と抽選内容を充実させ実施を支援しました。四季島などの観光列車はコロナ禍で残念ながら大半が運休でした。阿賀野川ライン観光協会が阿賀野川の魅力PR動画やパンフレットの作成を事務局と協力して制作しました。</p> <p>昨年度同様、花き遠方市場への輸送費支援の社会実験事業を実施しました。さらに、県内の花き関連団体と連携し、市内区役所等公共施設での市産鉢花の展示PRを行いました。10月には日本海フェリーで区産のアザレア展示を実施しました。その他、秋葉区役所玄関展示やポスター展示など情報発信事業を実施しました。</p> <p>社会起業家発掘・養成事業(入門編)はプログラミングを中心とした内容にしました。12月の1回は開催できたのですが、コロナ禍で他の回は中止となりました。</p> <p>Akihaもち麦推進事業は今後、もち麦PJ参加団体の自主的な活動を支援し、事業の発展を目指します。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5690
------------	--------------

年度	令和3年度		
組織名(部)	秋葉区	組織名(準部・課・機関名)	建設課
組織の目的	市民の安全で快適な暮らしを支える道路整備を進めます。 市民と協働で生活を支える道路や公園の維持管理に努め、安心で安全な生活環境を提供します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標
1		市民からの苦情や要望等に対し、早期対応と適切な情報提供を行います。	・道路や公園の異常箇所の修繕 ・工事要望の対応方針説明 ・除雪状況の情報提供	通報等に対する24時間以内対応率(%) (途中経過説明を含む)	100	100	100	100	100	・通報は24時間以内に、安全の確認や対策を実施します。	市民からの通報に対して早期に現場確認を行い、緊急度を判断し、対応方針や途中経過の説明を含め、全て迅速に対応することができました。 11地区のコミュニティ協議会懇談会において、要望工事の対応方針や進捗状況について対話による説明を行いました。	達成
				工事要望の進捗状況説明(回)	-	11	11	11	11	・11地区の懇談会にて、工事要望書の進捗状況を説明します。		
2		新津川や能代川沿いの遊歩道のほか、秋葉公園内の環境整備を市民と協働で行います。	・市民と協働で遊歩道周辺や秋葉公園の除草や刈払を実施	参加人数(人)	628	564	514	350	414	・参加人数(内訳) 新津川クリーン作戦 270人、 秋葉公園クリーン作戦 80人など	コミュニティ協議会や地域で活動している団体と協働で、新津川遊歩道の除草作業や水仙の球根植えなど環境整備を行い、市民による環境活動の醸成を高めることができました。	達成
3		工事・委託の早期発注に努め、上半期発注率の向上を図ります。	・道路や公園の維持及び整備工事の発注 ・設計や管理業務委託の発注	上半期発注率(%) (発注件数/当初予定件数)	80	93	94	80	88		毎月、工事や委託の発注について進捗状況の点検や課題の確認及び意見交換を行い、課内で情報共有を図ったことで、目標を達成することができました。	達成
4		職員の資質向上や効率的な業務を遂行するため、各種研修などへ積極的に参加し情報共有を図ります。	・専門分野の土木技術研修や市主催の職員研修などへの参加 ・課内研修などで他の職員へフィードバックする	3回以上の研修への参加人数(人)	27	26	26	26	26	・建設課職員数26人	土木技術や行政事務の研修に職員全員が3回以上の参加をすることができました。また、研修受講職員は課内研修会により、他の職員へフィードバックすると共に、プレゼン能力向上を図ることができました。	達成
				課内研修の実施(回)	-	7	6	6	6	・各係(グループ)単位にて2回実施		

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>道路や公園を安心して安全に利用できるよう維持管理に努めるとともに、市民から通報を受けた異常箇所は早急に修繕や安全対策を行います。また、工事要望や除雪等の問い合わせに対し、進捗状況などの情報を伝えるため、地区懇談会における説明や広報手段を活用した情報提供を行います。</p> <p>市民と協働で新津川や能代川沿いの遊歩道及び秋葉公園内の環境整備に取り組み、協働の楽しさを感じながら地域の魅力を高めます。</p> <p>工事などを早期に発注し、速やかなサービス提供と事業効果の発現を図り、利用者満足度の向上に努めます。</p> <p>各種研修へ参加することにより専門知識や広い視点での思考力を修得します。また課内研修などの機会での職員のプレゼンテーション能力の向上を図ります。</p>	<p>道路や公園を市民が安心して安全に利用できるよう、定期的なパトロールの実施や市民からの通報に対して迅速に現場対応を行い、良好な維持管理をすることができました。</p> <p>市民と協働で遊歩道や公園・緑地の環境整備に取り組むため、地域の団体と協働で実施計画を策定し、参加募集を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を取ったため、新津川クリーン作戦、水仙の球根植え、秋葉公園クリーン作戦は若干規模を縮小して実施しました。市民参加による環境活動の醸成を高めることができました。</p> <p>当初予定していた工事や委託について、定期的な進捗状況の点検や課題の確認及び意見交換を行い、課内で情報共有を図りながら早期に発注することができました。</p> <p>専門分野の土木技術研修や行政事務研修に職員全員が積極的に参加することができ、その研修内容を他の職員へフィードバックを行ったことで、職員の資質の向上と研修への参加意欲を高めることができました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	0250-25-5700
------------	--------------

年度	令和3年度		
組織名(部)	秋葉区役所	組織名(準部・課・機関名)	小須戸出張所
組織の目的	市民の目線に立った身近な行政窓口として、「迅速、正確、丁寧な対応」を基本に、市民サービスの提供を行います。また、市民とのコミュニケーションを大切に、地域の話題や課題の情報を共有しながら、自治会活動や地区コミュニティ協議会活動を支援します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標
1		身近な行政窓口として、迅速かつ正確で丁寧なサービスを提供するため、職員の仕事遂行能力の向上を目指します。	・職場内研修の継続実施 ・スキルアップ研修参加	職場内研修の継続実施(回)	職場研修10	職場研修10	職場研修10	職場研修10	職場研修9	・職場研修(ロールプレイングを主体とした研修) ・スキルアップ研修(区役所での実務研修、本庁での専門研修)	窓口でよくある事例を取り上げ、座学方式での研修に取り組みました。経験の浅い職員の育成はもとより、講師役職員の制度理解の深化を促すことにもつながりました。また、区役所等で開催された専門研修に職員を派遣し、制度を深掘する機会としました。	達成
2		小須戸地域の減災防災意識がアップするよう防災訓練を支援します。	・小須戸小学校、矢代田小学校、小須戸中学校が実施する防災避難訓練を小須戸、山の手両コミ協への活動支援を通じ間接的に支援する。	・訓練参加 ・事前準備等検討会参加	-	-	防災訓練1回 準備会議2回	防災訓練の実施 準備会議3回	防災訓練山の手コミ協 10/30(土) 合同訓練準備会議2回	・小須戸地区小中学校防災避難訓練 11月13日(土) ・準備会議 小須戸コミ1回、山の手コミ協1回 全体会議1回	当初日程を変更し10月30日(土)に山の手コミ協が避難情報伝達の検証を主体とした訓練を実施しました。小須戸コミ協は取組みに至りませんでした。小須戸、山の手合同防災訓練の来年度実施に向けた準備会議の支援を行いました。	一部未達成
3		自治会活性化推進委員会が取り組む自治会の組織強化、活性化活動を支援します。	・自治会活性化推進委員会活動の支援	・自治会活性化推進委員会の定期的な開催	委員会3回	委員会4回 再編方向性未決	委員会3回 方向性の決定	委員会の開催3回	委員会の開催2回	・自治会活性化推進委員会組織の存続 ・委員会の開催 ・合併対象自治会との話し合い	当該委員会の目的である自治会の再編と地域の活性化はコミ協の活動の目標と同じであることから、活動をコミ協が受け持つことがより効果的との合意から小須戸コミ協に移管することになりました。委員会とコミ協との話し合いに加わり、活動を移管する合意に繋げることができました。	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>職場研修や区役所窓口などの実務研修を通じ職員のスキルアップに努め、市民満足度のさらなる向上を目指します。防災訓練の準備段階から会議に加わり、訓練における課題の掘り起こしと解決に向けた方向性を地域とともに考え、訓練がより充実した内容になるよう支援します。</p> <p>自治会活動や安心・安全な地域づくりを進めるためには、役員単年度の交代や世帯の減少化による役員の担い手不足を解消していくことが求められています。地域課題の掘り起こしなどコミュニティ協議会との協働を進め、自治会活性化推進委員会が取り組む自治会の再編を支援します。</p>	<p>職員一人ひとりの力量アップのため、窓口での事例を取り上げ、座学形式での研修に取り組みました。経験の浅い職員の育成はもとより、講師役職員の制度への精通にも役立てることができました。今後も職場内研修に取り組み職員のスキルアップを図っていきます。</p> <p>自治会を構成する世帯の減少や役員選任の困難性など地域には共通の課題があります。こうした課題抱える自治会の再編を促す「自治会活性化推進委員会」活動を出張所は支援してきました。委員会では再編が遅々として進まない現状から解散の意見がありました。地域の活性化を目標とするコミ協とは方向性が一緒との認識の下、委員会活動をコミ協に移管することになりました。出張所として引き続き地域の活性化に取り組むコミ協活動を支援します。</p> <p>小須戸地区の二つコミ協(小須戸、山の手)が来年度、合同で取り組む防災訓練活動を支援します。</p>